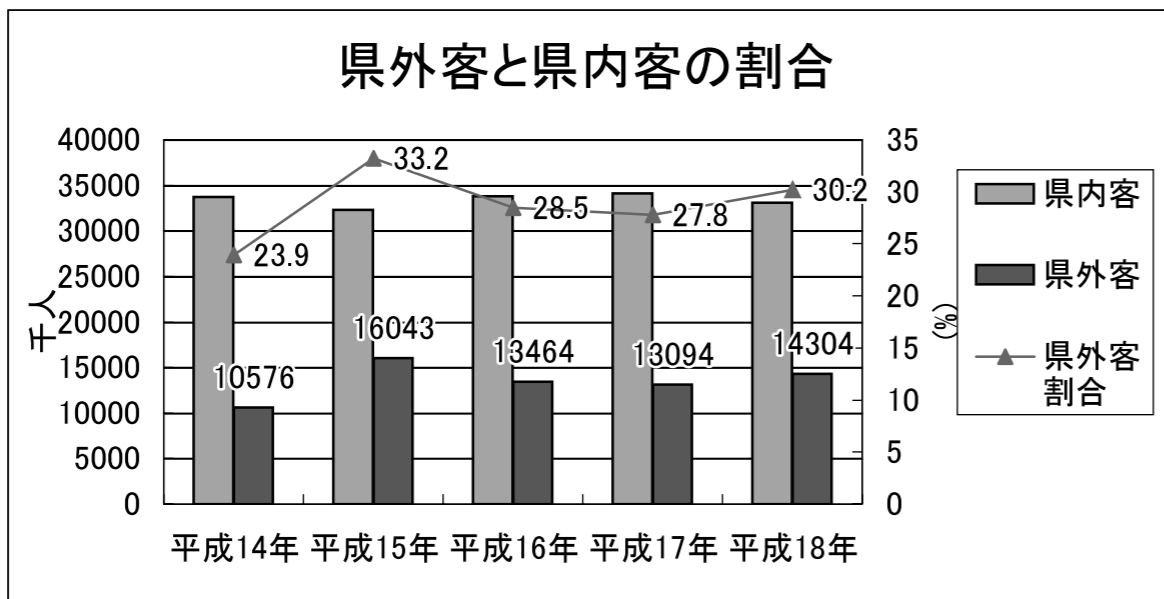
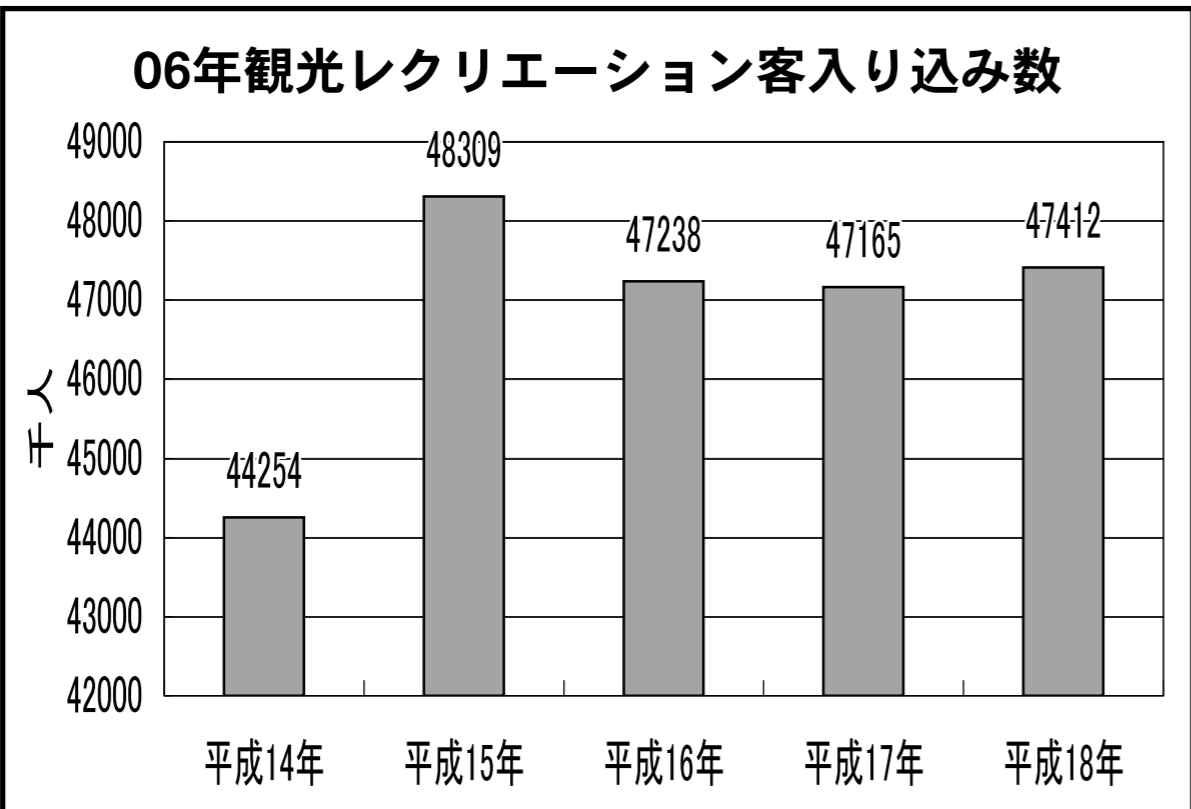


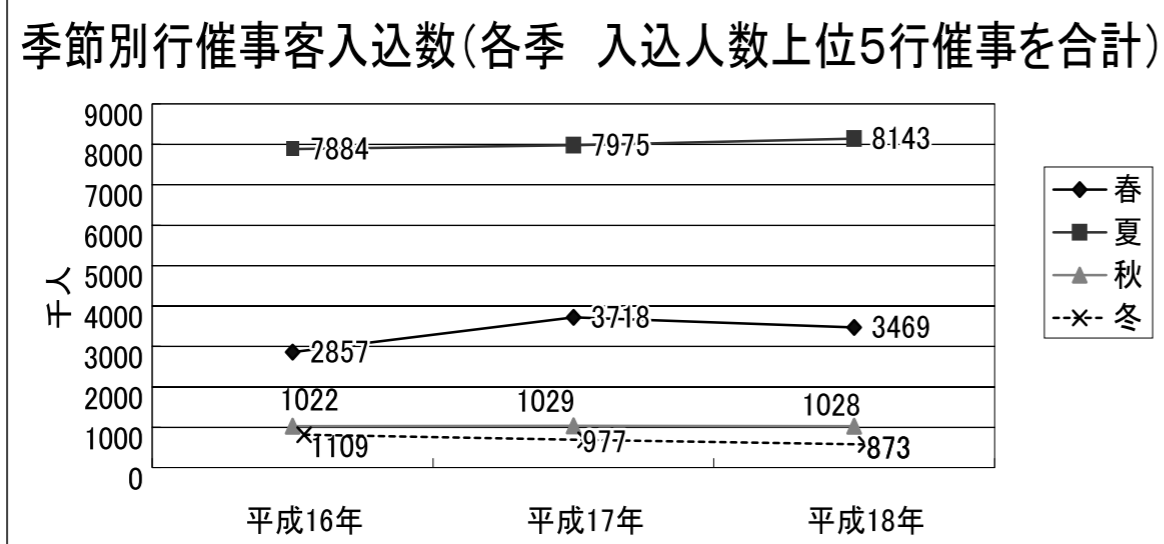
# 宿泊客数の減少が進む

## 青森県・観光レクリエーション客入込数調査

青森県商工労働部観光局観光企画課調べ



	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
県内客(千人)	33,678	32,266	33,774	34,071	33,108
県外客(千人)	10,576	16,043	13,464	13,094	14,304
県外客割合(%)	23.9	33.2	28.5	27.8	30.2



	平成16年	平成17年	平成18年
春	2,857	3,718	3,469
夏	7,884	7,975	8,143
秋	1,022	1,029	1,028
冬	1,109	977	873

(千人)

### ●行催事客入り込み客数 ベスト3

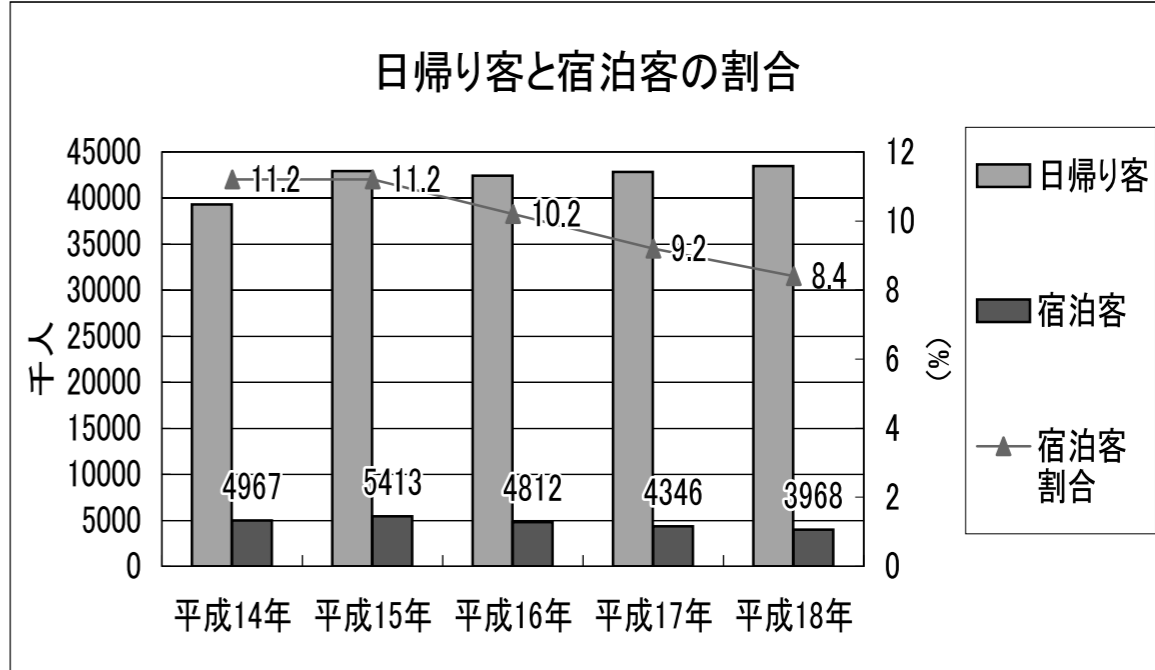
- 1位 青森ねぶた祭り  
3,370千人(前年比100.9%)
  - 2位 弘前さくら祭り  
2,550千人(前年比99.6%)
  - 3位 五所川原立佞武多  
1,720千人(前年比101.8%)
- 

### ●季節別行催事客 入り込み客数上位5位

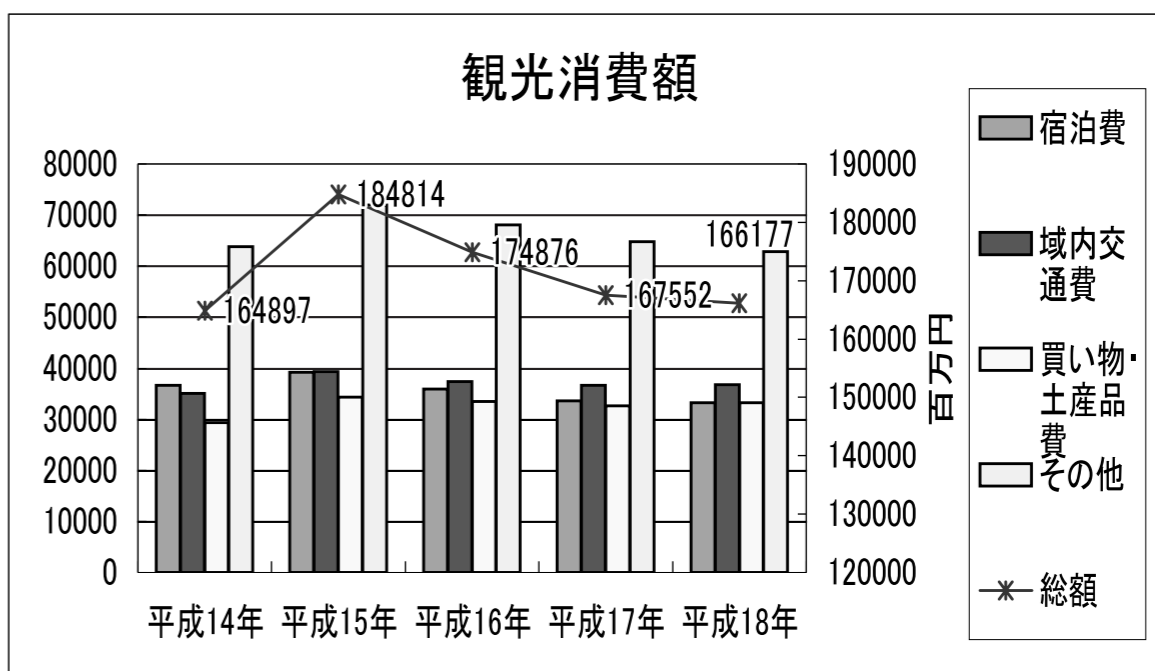
	春	夏	秋	冬
1	弘前さくらまつり	青森ねぶた祭	弘前城菊と紅葉まつり	弘前城雪灯籠まつり
2	五所川原市・金木桜まつり	五所川原立佞武多	十和田市秋まつり	八戸えんぶり
3	はちのへ春まつり	弘前ねぶたまつり	黒石市・中野もみじ祭り	十和田湖冬物語
4	五所川原市・奥津軽虫と火まつり	八戸三社大祭	三沢市・航空祭	黒石市・旧正マッコ市
5	青森春まつり	八戸七夕まつり	弘前市・お山参詣	青森冬まつり

課題の冬季は入り込み客数が増加

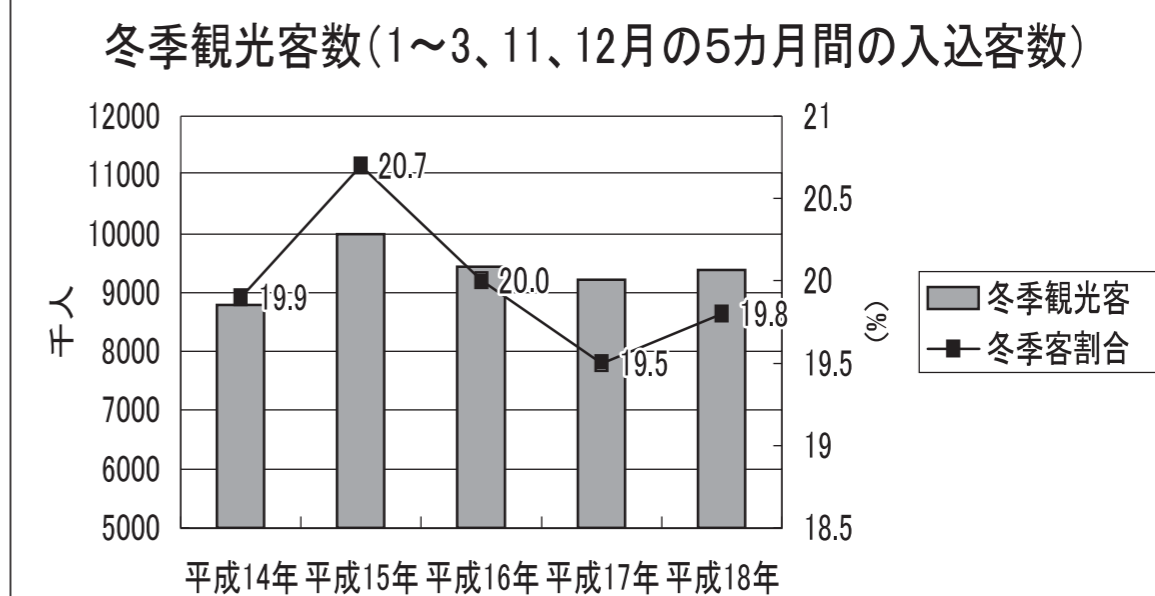
青森県商工労働部観光局観光企画課による、06年1～12月の観光レクリエーション客の入込数は、47万4千122人で、対前年比0.5%増の結果となった(05年実績47万1千655千人)。このうち日帰り客は43万4千444人で、対前年比5%増の増加。一方、宿泊客数は3万9千678人で、対前年比15.3%増の増加。対前年比8.7%減となった。宿泊客数の減少は、対前年比以降3年連続で対前年微増となった要因として同課は、①東北新幹線八戸駅開業効果が落ちつきつつある②春の低温や秋の悪天候による行催事入込人数全体として前年比減だった③観光関連施設の入り込み客が増加した④宿泊客の減少は、同課内の自然公園観光レクリエーションの「さくらまつり」が行われる春や、「青森ねぶた祭」・「五所川原立佞武多」などが開かれる夏に集中している。同課企画観光課は「大型イベントが比較的少なく、季節も概ね冬・冬の誘客が課題」と話すが、平成18年度については、冬季の観光客数は9万3千850人の増加となった。イベント別では「弘前ねぶたまつり」が対前年比15.3%増の1万6千600人を集音、「弘前城菊と紅葉まつり」も同10.9%増と伸びた。観光消費額は域内交通費(3億6千400万円)対前年比0.6%増、買い物・土産品費(3億2千500万円)対前年比0.6%増、宿泊費(3億6千400万円)対前年比0.6%増、その他(6億2千836万円)の内訳は施設料(2億8千360万円)が伸びた。なお、同課内の自然公園観光レクリエーション客の入込数は1万3千387人で、対前年比1.8%の減少だった。



	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
日帰り客(千人)	39,287	42,896	42,426	42,819	43,444
宿泊客(千人)	4,967	5,413	4,812	4,346	3,968
宿泊客割合(%)	11.2	11.2	10.2	9.2	8.4



	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
宿泊費(百万円)	36,650	39,150	35,885	33,588	33,252
域内交通費(百万円)	35,010	39,316	37,390	36,605	36,825
買い物・土産品費(百万円)	29,403	34,343	33,484	32,580	33,264
その他(百万円)	6,383	7,205	6,811	6,479	6,283
総額(百万円)	164,897	184,814	174,876	167,552	166,177



	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
冬季観光客(千人)	8,785	9,997	9,437	9,220	9,385
冬季客割合(%)	19.9	20.7	20.0	19.5	19.8

調査データ